

# 淡路島の蝶類

堀田久

淡路島の形は大体二等辺三角形であり、その頂点から常陸寺山脈が南下し、常陸寺山、妙見山、摩耶山等がある。角心に当る位置には先山が聳え、底辺に当る部分には柏原、諭鶴羽の両山脈があり、外海を屏風の様に遮っている。

これ等の山々は何れも500m前後ではあるが、植物の種類は豊富で暖地性のものが多く自生し、又寒地性のものも見られるなど、植物分布の上からは極めて興味深いものがある。しかし昆虫類には変つたものが少なく、特に蝶類は普通種ばかりで蒐集家の注意をひかなかつたためか、今まで文献らしいものは皆無の状態である。

私は昭和21年から、毎年島内の各地に出かけ採集を続けて来たので、今手許にある標本と、確実な記録に基いて、淡路の蝶を紹介したいと思う。しかしながら今までの採集は殆ど夏の間に限られ、又南淡地方は12回の調査であるため、今後多くの種類が見出されるにちがいないと思うが、私の未熟な発表が今後の調査研究にいくらかでも役立てば幸いである。

尙本稿発表をおすすめ下さつた奥谷禎一先生並びに標本を贈与下さつた西宮市の田中蕃君、津名町志筑の島中君に厚く御礼申し上げると共に、同好諸賢の力によつて、1日も早く完全な淡路の蝶類目録が作られることを念願して止まないものである。

## アゲハチヨウ科 PAPILIONIDAE

### 1. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* KLUG

7月～8月、平地にも見られるが、山地に多い。

### 2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* FRUHSTORFER

6月～9月、最も普通で各地に多産する。8月頃、先山、三熊山等の山上では群飛するが捕え難い。

### 3. アゲハチヨウ *Papilio xuthus* LINNE

3月～10月、最も普通で至る所に見られるが、個体数はあまり多くない。

### 4. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* FELDER et FELDER

7月～8月、山地性で妙見山には多いが、他には少ないようである。

### 5. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius* Cramer

5月～9月、各地に普通である。

### 6. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii*

## SIEBOLD

昭和26年8月、津名町志筑で島中君が♀2頭を採集したのみである。標本の1頭は私が所蔵している。向このことは新昆虫のムシペン欄に寄稿した。

### 7. モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* BUTLER

6月～8月、淡路には普通であり、特に夏の盛りには三熊山、先山等でクロアゲハより個体数の多い時がある。

### 8. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* FELDER et FELDER

7月～8月、各地に産するが個体数は多くない。

## シロチヨウ科 PIERIDAE

### 9. モンキチヨウ *Colias erate poliographus* MOTSCHULSKY

3月～11月、最も普通である。

### 10. キチヨウ *Eurema hecabe mandarina* DE-LORZA

3月～11月、最も普通である。

### 11. モンシロチヨウ *Pieris rapae crucivora* BOIS-DUVAL

3月～10月、最も普通である。特に6月頃平地に多いが盛夏には少なくなる。

### 12. スジグロチヨウ *Pieris melete* MENETRIES

4月～9月、各地に普通で、4月頃平地に多く、夏の間は山地に多く見られる。

### 13. ツマキチヨウ *Anthocaris scolymus* BUTLER

4月～5月、平地に見られるが少ない。

## マダラチヨウ科 DANAIDAE

### 14. アサギマダラ *Caduga tytia nipponica* MOORE

7月～10月、平地にも見られるが、山地の樹林内にはかなり多く、特に10月初旬には個体数が多い。

## テングチヨウ科 LIBYTHEIDAE

### 15. テングチヨウ *Libythea celtis celtoides* FRUHSTORFER

3月～8月、各地に普通で平地よりも山地に多い。早春越冬した成体が、かなり多く見られる。

## ジャノメチヨウ科 SATYRIDAE

### 16. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* BUTLER 5～10月、最も普通である。

### 17. ジャノメチヨウ *Minois dryas bipunctatus*

MOTSCHULSKY

6月～9月、各地に普通であるが、個体数はあまり多くない。

18. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* FRUHSTORFER

8月～10月、普通であるが個体数は少ない。

19. コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* HEWITSON

6月～9月、最も普通で平地山地共に個体数が多い。

20. ヒカゲチヨウ *Kirrodesa sicelis* HEWITSON

5月～10月、最も普通で5月から6月頃、特に多く見られる。

21. キマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* MENETRIES

4月～9月、最も普通である。

タテハチヨウ科 NYMPHALIDAE

22. ゴマダラチヨウ *Hestina japonica* FELDER et FELDER

6月～8月、各地の山地にはかなり多い。

23. コミスジ *Neptis aceris intermedia* W. B. PRYER

7月～10月、各地に普通で、盛夏に他のチヨウが少なくなつた時にも多くみられる。

24. アカタテハ *Vanessa indica* HERBST

3月～10月、各地に普通である。早春越年した成体が見られるが、今年は1月1日に飛翔していた。

25. ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* LINNE

4月～9月、個体数は極めて少ない。

26. ヒオドリチヨウ *Nymphalis xanthomelas japonica* STICHEL

6月～9月、普通であるが個体数は少ない。

27. ルリタテハ *Kaniska canace no-japonicum* SIEBOLD

3月～9月、最も普通であり、早春越年した成体が見られる。

28. オオウラギンヒヨウモン *Fabriciana nerippe* FELDER et FELDER

6月～8月、各地に普通で、特に6月下旬には個体数が多い。

29. ウラギンスジヒヨウモン *Argyronome laodice japonica* MENETRIES

6月～8月、各地に普通であり、ヒヨウモンチヨウの中では一番個体数が多い。

30. ミドリヒヨウモン *Argynnis paphia geisha* HEMMING

6月～8月、各地に普通に見られる。

31. クモガタヒヨウモン *Argynnis anadyomene midas* BUTLER

9月～10月、あまり多くない。

32. ツマグロヒヨウモン *Argyreus hyperbius* LINNE

6月～9月、各地に産するが、個体数はあまり多くない。

33. メスグロヒヨウモン *Damora sagana liane* FRUHSTORFER

6月～10月、各地に普通で、秋頃多く♀は捕え易い。

シジミチヨウ科 LYCAENIDAE

34. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila japonicus* MURRAY

昭和21年6月、安平で♂1頭を採集したのみであるが、各地に産すると思われる。

35. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* MURRAY

6月頃平地にみられるが極く少ない。

36. ムラサキシジミ *Arhopala japonica* MURRAY

4月～10月、各地に普通である。

37. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* SEITZ

3月～11月、最も普通である。

38. クロシジミ *Niphanda fusca shijima* FRUHSTORFER

昭和26年8月、妙見山で♀1頭を採集したのみである。

39. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de NICEVILLE

3月～11月、各地に普通であり、9月頃♂が特に多い。早春越年した成体が見られる。

40. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia* MENETRIES

5月～10月、最も普通である。

41. シルビアシジミ *Zizina otis alope* FENTON

8月～10月、西宮市の田中君が洲本の竹原で、昭和26年8月に多数採集されたが、其の後私は安平でも採集し、又昭和27年10月には中川原で多数採集した。他にも産するものと思うがまだ調査していない。

42. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* de LORZA

3月～9月、各地に最も普通に産する。

43. ツバメシジミ *Everes argiades seitzi* WNUKOWSKY

4月～10月、最も普通である。

44. ウラナミシジミ *Lampides bocticus* LINNE

8月～10月、各地に普通で8月下旬から9月にかけて

(141ページへ)

- Tenebrio molitor LINNE (チャイロコメゴミムシダマシ)  
Tenebrio obscurus FABRICIUS (コメノゴミムシダマシ)
- Gregarina blatterum SIEBOLD .....Blattela germanica LINNE (チャバネゴキブリ)
- Gregarina ovosatellitidis OBATA .....Chlaenius nigricans WIEDEMAN (オオキベリアオゴミムシ)  
Chlaenius inops GHAUDOIR (ヒメキベリアオゴミムシ)  
Chlaenius noguchii BATES (ノグチアオゴミムシ)  
Chlaenius circumdatus BRULLE(コキベリアオゴミムシ)
- Hirmocystis mirabilis HOSIDE.....Lyprops sinensis MARSEUL (ヒゲフトゴミムシダマシ)
- Didymophyes diminuta OBATA .....Aphodius rectus biformia REITTER (マグソコガネ)
- Steinina obcnica ISHII.....Tribolium ferrugineum FABRICIUS (コクヌストモドキ)  
Tenenebrio obscurus FABRICIUS (コメノゴミムシダマシ)
- Pyxinia mobuszi LÉGER et DUBOSCQ .....Anthrenus verbaci LINNE (ヒメマルカツオブシムシ)
- Stylocephalus japonicua TSUGAWA .....Gonocephalus pubens MARSEUL (スナゴミムシダマシ)  
Gonocephalus japonium MOTCHULSKY (ヒメスナゴミムシダマシ)
- Hoplorhynchus orthetri HOSIDE .....Orthetrum albistylum speciosum UHLER (シオカラトンボ)
- Ancyrophora gigantea HOSIDE.....Calopterix atrata SELYS (ハグロトンボ)
- Stictospora 各種 .....コガネムシ科幼虫数種

115ページより

て特に多い。

セセリチヨウ科 HESPERIIDAE

45. ミヤマセセリ *Erynnis montanus* BREMER  
4月頃各地にみられる。
46. ダイミヨウセセリ *Daimio tethys* MENTRIES  
8月~9月、各地の山地に普通であるが、個体数はあまり多くない。
47. アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY  
7月~8月、三熊山にはかなり見られるが他の地ではまだ採集していない。
48. ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus* FELDER et FELDER  
7月~8月、各地に普通である。
49. キマダラセセリ *Potanthus flavum* MURRAY  
6月~8月、普通であるが個体数はあまり多くな

い。

50. コチャバネセセリ *Thoressa varia* MURRAY  
7月~10月、各地に多産する。
51. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* MURRAY  
6月~9月、最も普通で山地ではセセリチヨウの中で最も個体数が多い。
52. イチモンジセセリ *Parnara guttata* BREMER et GREY  
8月~10月、最も普通である。
- 以上の8科52種の他に津名郡遠田小学校でアカシジミを、育波中学校ではキタテハとサカハチチヨウの標本が保存されているのを見たが、何れも産地を確かめていない。又私自身他に目撃したものが2、3種あるが、標本が手許にないものは目録に入れなかつたことを附記する。(昭和31年1月4日、洲本市安乎にて)